

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児の状況に応じ、各部屋の仕切り等を調整している
	2	職員の配置数は適切であるか	○			問題ないが、性別に偏りがあり。男性職員がいない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子での移動等問題ない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		月1の会議および毎朝のミーティングで、課題の解決を図っているが、記録による評価が徹底していない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		実施中
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人内の他施設との合同会議で、意見をもらい、改善に反映させている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			医療的ケアに関する研修や自閉症に関する研修等参加。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画立案時に、スタッフ全員での打ち合わせを行う。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	検討中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			計画立案時に、スタッフ全員での打ち合わせを行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や天候に応じて、周囲の環境を利用したプログラムを実施することとしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇に対する課題や対応の検討や計画は行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		利用児の状況や性格に応じ、個別・週案活動を実施しているが、今後より具体的な計画を意識する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝（必要であれば随時）にミーティングを行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		基本的に行っているが、職員の事情により全員参加とはいえない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録はとっているが、検証については今後の課題である。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者や支援学校からの聞き取りを実施、計画への反映を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			他の施設との交流等も頻繁に実施している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じ、医療的ケアが必要な児童の際には、准看護師の資格がある指導員が参加する等の配慮を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時および適時おこなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		受け入れ時に保護者にヒアリングを行い、必要に応じて体勢を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		障害児相談支援事業所との情報共有を図り、必要に応じ就学前の施設等との共有も図る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行先の求めに応じ対応している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	長期休暇等に交流の機会を作る方向で検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		可能な限り参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者等に対する連絡ノートや送迎時の話し合いにより共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	スタッフが研修に参加し、支援体制を準備し送迎時等に行っているが、時間を確保しての面談等は行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入所時や改正時等必要に応じ行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		普段の送迎以外にも、時間を作り相談に応じる場合もある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は年1回実施。保護者会を楽しみにしている声もあり、保護者同士の情報交換の場ともなっている。また、クリスマス会等のイベントにも保護者に参加して頂いている。但し、利用者以外のお子様連れに対する対応等が困難な為、一部の保護者の参加ができていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		体制は運営規程に定義。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		随時「ハーモニーだより」や会報を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		障害児相談支援事業所等とのやりとりでは、インシヤルを用いるなどの対策をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時以外にも、必要に応じ行っている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所を運営する法人が主催する地域イベント等あり。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		運営法人として作成しているが、ハーモニーの特性にあわせたマニュアルの策定は課題。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練等を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			スタッフが研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現時点で身体拘束が必要なケースはない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事提供の際には、調理スタッフと密に連携を図り対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例集を作成、事業所内に常備している。